

「小・中学校等における起業体験推進事業」実施計画書

1. 実施主体	
本事業を受託する教育委員会	愛知県教育委員会
2. 現状及び課題	
学校及び地域におけるキャリア教育の現状	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校では、平成18年度より、愛知県内全ての中学校で「あいち出会いと体験の道場推進事業」を実施し、職場体験を核としたキャリア教育を推進している。 ○ 小学校では平成26年度より「地域に学び語り継ぐキャリア教育推進事業」を創設し、平成28年度までの3年間で、全ての市町村(53市町村)でモデル事業を実施する。 ○ 平成22年度に生徒用ガイダンス資料「キャリア教育生き方メッセージ集」DVD、平成23年度に教師用キャリア教育ガイダンス資料「なるほど！！キャリア教育」DVDを作成し、現在各学校で活用している。 ○ 平成23年度に、小学校から高等学校まで使える資料「キャリア教育ノート」を作成し全校に配付した。27年度の活用率は70%である。 ○ 平成27年度、キャリア教育年間計画作成率100%をすべての小・中学校が達成した。
学校及び地域におけるキャリア教育に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育活動全体を通して、キャリア教育を進める教員意識の高まりは見られるが、基礎的・汎用的能力を高める児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育の一層の充実が必要である。 ○ 起業を含めた新しい視点を盛り込んだ「ものづくりあいち」ならではのキャリア教育の充実が必要である。
3. 委託内容に対する取組	
実施する学校	西尾市立一色中学校 知多市立佐布里小学校 瀬戸市立品野中学校・瀬戸市立本山中学校
目標	<p>基礎的・汎用的能力のうち、それぞれ、本事業で重点的に高めたい力として、次のような具体的な4つの能力を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人間関係形成・社会形成能力… 仲間や地域の方とコミュニケーションを図り、よりよい人間関係を形成し、地域社会に貢献しようとする力 ○ 自己理解・自己管理能力… 周囲の人に役立とうと、主体的に活動する力 ○ 課題対応能力… 周囲の人が喜ぶことをめざし、様々な課題について創意工夫をして解決する力 ○ キャリアプランニング能力… 計画した事業についてPDCAサイクルで取り組むことのできる力

取組計画

【4つの能力を引き出すために、PDCAサイクルで次のような取組計画を立てる。】

Plan(1学期前半)

【該当校の取組】

- ・ 4つの能力に関わる事前の児童生徒意識調査を行う。
- ・ 仕事について深く知り、やりがいを感じられるようにするために、コーディネーターと連携し、事業所や専門家や地域の方、または専門学科を持つ高等学校等の話を聞く場を設定する。
- ・ 「地域の人に喜んでもらえるようにするためにはどうすればよいか」、「どんな商品をつくれればよいか、どのような宣伝をすればよいか」という課題の解決について、一人一人が収集した情報をもとに起業プランを構成する。
- ・ 起業プランを仲間や地域の方に発表し、選考する場を設定する。

【市町村の取組】

- ・ 関係部局や関係団体、事業所等との協働体制を構築し、起業プランへの助言と支援を行う。

【県の取組】

- ・ 第1回キャリア教育起業体験推進協議会を開催し、3市町村での計画について共有できるようにするとともに、実践に向けた指導・助言を行う。

Do(2学期)

【学校】

- ・ 商品の開発及び制作を行う。
- ・ 完成した商品についてプレゼンテーションをしたり、接客を工夫したりして販売活動等を行う。
- ・ 商品を購入いただいた方の声を集約する。

【県及び市町村の取組】

- ・ 視察し、取組の実態や課題等を把握し、学校やコーディネーターへの指導・助言を行う。

Check(2学期中ごろ)

【該当校の取組】

- ・ 4つの能力に関わる中間の意識調査を行い、起業体験の成果と課題を検証する。
- ・ 起業体験を通して学んだことについて振り返る場を設定する。また、後輩や地域の方への発表会を行う。

【県及び市町村の取組】

- ・ コーディネーターと視察し、意識調査結果に基づく分析・検証の視点について指導・助言する。

Act(3学期)

【該当校の取組】

- ・ 4つの能力に関わる事後の意識調査を行う。
- ・ 来年度の実践に向けた計画の修正を行う。

【市町村での取組】

- ・ リーフレット案の骨子を検討する。
- ・ 保護者地・域向け、教師向けのリーフレットを作成し、市町村での啓発を行う。

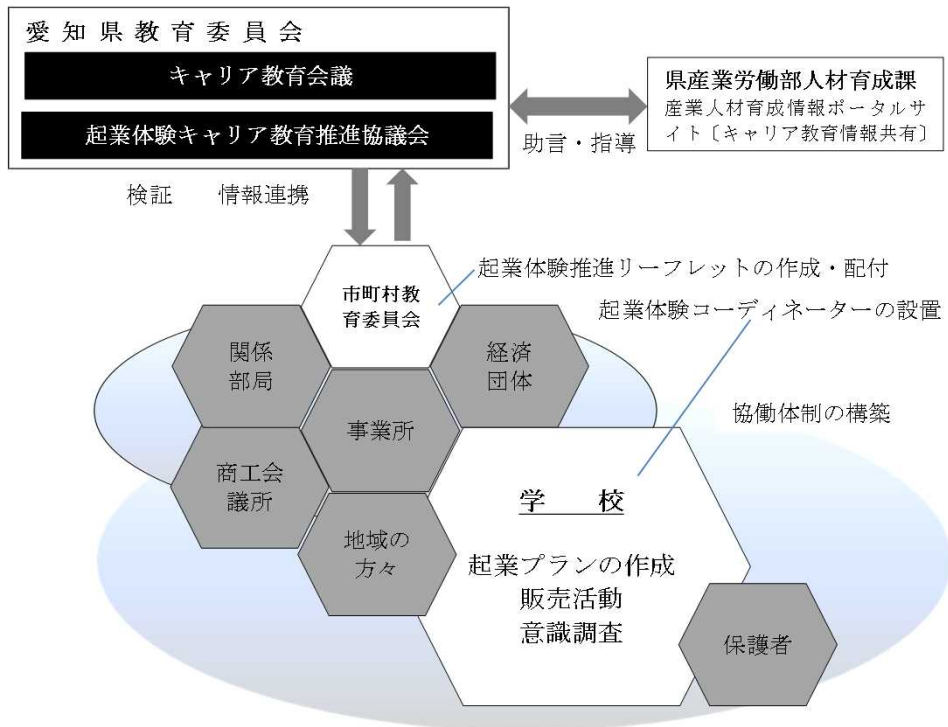
【県の取組】

- ・ 第2回起業体験キャリア教育推進協議会を開催し、各市町村での実践をもとに、28年度実践の成果と課題を明らかにし、29年度の他地域での実践拡大に向けた計画を作成する。

(1)学校において起業体験活動を実施するためのモデルの構築

①実施体制(図で示すなどわかりやすく記載すること)

- 起業体験キャリア教育推進協議会の開催(年間2回)
外部の委員10人(学識者2人・有識者2人・該当市指導主事3人・該当市該当校担当者3人)と事務局9名で組織し、起業体験を基本としたキャリア教育の推進を図る。
- 学校と事業所との連携と、連携が円滑に行えるようにするためのコーディネーターの設置
起業体験に協力していただける事業所と学校が連携できるようにするためのコーディネーターを、商工会議所や地域の事業所の方等が行う。



※ キャリア教育会議…愛知県の小・中・高等学校の発達段階に応じた系統的なキャリア教育の推進について協議する有識者会議。

②授業をサポートする団体(予定でも可)

愛知県産業労働局人材育成課
市町村商工会議所
地域事業所
NPO法人
等

③取組内容

【西尾市立一色中学校】別紙(西尾市)2-1参照

実施期間: (4月)7月~1月

総時間数: 165時間

教育課程上の位置付け

総合的な学習の時間(1年20時間・2年60時間・3年40時間)

技術・家庭科(技術5時間・家庭30時間)、美術10時間

具体的な起業体験の学習内容

- ・家庭科「B食生活と自立」の学習を中心に、地場産物を活用した商品開発を行う。
 - ・技術科、美術科では、レシピ集、プレゼンテーション資料、包装紙のデザイン等の作成を行う。
- 1年…地域を知る(情報収集) 2年…地域で活躍する(計画・体験)
3年…地域を発信する(発信)

事業実施の計画

4月…試作品計画(2年)

5月…地域の産業把握(1年)、試作品づくり(講師招聘)(2年)、修学旅行特産品調査(3年)

6月…マップ作り(1年)、試作品づくり(2年)

7月…レシピ配付(1年)、販売(一式の祭礼)(2年)

8月…販売②(西尾の祭礼)(2年)、販路の開拓折衝(3年)

9月…試作品改良(2年)

10月…販売③(道の駅)(2・3年)

11月…職場体験(2年)

12月…体験まとめ(2年)、収益の活用方法検討(3年)

1月…収支報告書作成(2年)、収支報告(3年)

【外部との連携】

商工会・地元の商店街・農業協同組合・漁業協同組合・保護者

【知多市立佐布里小学校】別紙(知多市)2-1参照

実施期間: 7月~2月

総時間数: 20時間

教育課程上の位置付け

5年生、特別活動10時間、総合的な学習の時間10時間

事業実施の計画

7月……………テーマ設定

現状と課題に係るヒアリング(市商工振興課、健康推進課、商工会、観光協会等から)

9月……………会社設立(制作部、宣伝部等部署を決める) 仕事内容検討

10~12月…外部講師による講演会(IT企業、パンフレット制作会社等)、企画書・意見書作成
商品の開発と制作

1月……………開発した商品(仮)のプレゼン(市商工振興課・健康推進課、商工会、観光協会等に対して)

2月……………商品化、活用(梅まつりにおいて)

【開発商品の内容】

観光案内マップ・梅の写真・梅の歴史・梅に関する動画・デジタルコンテンツ

【外部との連携】

知多市役所商工振興課・健康推進課・財団法人愛知県観光協会・佐布里池観光協会・知多市商工会等

【瀬戸市立品野中学校】別紙(瀬戸市)2-1参照
実施期間 平成28年4月～平成29年3月

総時間数 25時間

教育課程上の位置付け

- ・ 起業家による講演「総合的な学習の時間(キャリア教育)」:2時間
- ・ 第2学年「総合的な学習の時間(キャリア教育)」10時間
- ・ 特別支援学級「美術科」8時間
- ・ 部活動「美術窯業部」5時間

具体的な起業体験の学習内容

A 起業家による講演

これまでの「働く」＝「就職する」ではなく、「起業する」という観点から「働く」について考える。

B 総合的な学習の時間(キャリア教育)

第2学年の職場体験実習の中で、地域の伝統産業である「窯業」について調べ、地域の陶芸家や企業家を講師に招いて、商品開発について学び、体験する。

C 特別支援学級「美術科」

特別支援学級の美術科では、伝統産業である陶芸作品制作を取り入れている。「狛犬」を中心と

した作品は、『せともの祭(廉売市)』で生徒自らが販売する。地元の陶芸家を講師に招き、より魅力のある狛犬制作に挑戦する。

D 部活動「美術窯業部」

美術窯業部の1学期のおもな活動として陶芸作品制作を行っている。作品は『せともの祭(廉売市)』で生徒自らが販売する。これまでは置物を中心に制作してきたが、本事業を機会に、地元の陶芸家を講師に招いてろくろの技術指導をお願いし、茶器・花器(品中ブランド)の制作に挑戦する。

事業実施の計画(A:全校, B:第2学年, C:特別支援学級, D:美術窯業部)

<1学期>

- B 「自分の将来の夢」「夢を実現するための進路調べ」
- C 「新しい狛犬のデザイン」「講師による実技指導」「制作」
- D 「制作計画」「講師によるろくろ実技指導」「制作」

<2学期>

- A 起業家による講演会
- B 「職業調べ」「講師による職業講座」「職場体験事業所探し」
- C 「販売練習(売り子・お釣りの計算)」「販売実習」「美術展作品制作」
- D 「販売準備(店の飾り付け・梱包)」「販売実習」「美術展作品制作」

<3学期>

- B 「講師による職業マナー講座」「職場体験事業所決定・事前訪問」「職場体験実習(窯業作品制作・販売を含む)」「事業所へのお礼」
- C 「今年度の反省・課題」「来年度に向けて」「講師へのお礼」
- D 「今年度の反省・課題」「来年度に向けて」「講師へのお礼」

【外部との連携】瀬戸市商工会・地元の陶芸事業所・保護者等

【瀬戸市立本山中学校】

実施期間 平成28年4月～平成29年3月

総時間数

1年生総時間数 11時間

2年生総時間数 16時間

教育課程上の位置付け

1年生 総合的な学習の時間 7時間 特別活動4時間

2年生 総合的な学習の時間12時間 特別活動4時間

具体的な起業体験の学習内容

「もとやま工房」プロジェクトを立ち上げ、学年全体が生徒による一つの会社になるように取り組む。せともの商品作りのための調査、作陶、販売方法の学習を実施し、せともの祭での販売体験をする。

事業実施の計画

4月…もとやま工房2016(2年生)作陶

5月…もとやま工房2016作陶(2年生)もとやま工房2017(1年生)

6月…もとやま工房2016(2年生)もとやま工房2017作陶(1年生)

7月…もとやま工房2016(2年生)

8月…なし

9月…もとやま工房2016検品, 販売研修, 販売(2年生)

10月…もとやま工房2017作陶(1年生), 講演会

11月…なし

12月…もとやま工房2017作陶(1年生)

1月…なし

2月…なし

3月…もとやま工房2017作陶(1年生)

【外部との連携】瀬戸市商工会・地元の陶芸工房・保護者等

(2)域内の学校に普及するための取組

①域内の学校への普及方法について

- 該当市の教員研修などで実践内容について周知する。
- 教師用リーフレット等を作成し周知する。

②地域・保護者等への周知方法について

- 保護者・地域の方々、関係団体を巻き込んだの発表会を開催する。
- 市町村教育委員会及び学校のホームページや通信などで周知をする。
- リーフレット等を作成し周知をする。

(3)その他の取組

- 広く県民に実践を紹介するため、愛知県産業人材育成課と連携し、同課のポータルサイトに取組を掲載する。
- 学校教育担当指導者会議等の場で取組の内容について発表し、起業体験事業の推進を図る。

4. スケジュール

実施時期	実施内容
4・5月	各市町村での事業所の選定と、該当校での計画づくり、実践前の意識調査
6月	第1回起業体験キャリア教育推進協議会
7月	実践開始
8月	2学期実践の具体的な計画作成
9月	2学期実践開始
10月	取組の視察
11月	取組の中間報告
12月	実践途中の意識調査
1月	学校での発表会・まとめ等
2月	実践後の意識調査、第2回起業体験キャリア教育推進協議会、県内への取組の報告と啓発

5. 取組により見込まれる成果とその検証方法

【成果1】

一人一人の社会的・職業的自立に向けた4つの能力を高めることで、キャリア発達を促すことができる。

【検証方法】

- 視察し、具体的な取組の様子から検証する。
- 4つの能力のそれぞれの項目について、アンケートによる意識調査を、事前・中間・実後に行い、その数値の変容から検証する。
- 児童生徒やコーディネーター等の実践後の自由記述の内容をもとに検証する。
- キャリア教育推進協議会において、有識者等の意見をもとに多面的・多角的に検証する。

【成果2】

3市の実践を研修会、HP等で周知することで、県内の他の市町村へ起業体験を中心とした新たなキャリア教育を広げることができる。

【検証方法】

- 研修会後のアンケート調査
- 翌年度の市町村での取組調査